

クリスマスカード
マラウイの障害者制作

わかちあい プロジェクト NEWS No.6

1995 DECEMBER



カクマ難民キャンプの子どもたち、手作りのボールを見せている

日本の皆さんへ グクサ サイド ダムテウ (カクマ難民)

私は22才のエチオピア難民です。農業大学の2年生の時、政府の民族政策に反対するデモ行進に参加したため、私は捕えられ、裁判なしに獄に3ヶ月入れられました。その後の迫害を恐れてケニアに逃れ、カクマキャンプの難民となりました。

皆さんも承知のように、誰も好きこんで難民になりません。難民であることは外国人として他国に住むのとは比較できないほど厳しいことです。難民は見知らぬ外国に住み、生きるための食べ物、衣類、住居など基本的な必要物を他人に依存する、弱く傷つきやすい人間なのです。すべての人間は、奪われることのない権利と自由を平等に与えられています。しかし、現在の世界では力を持つ者が、力を持

たない者の権利を侵害しています。力と利害により私は人権を犯され、犠牲をいらされ、迫害を恐れて、1992年に国を離れました。

私は現在、最悪の状態にあります。どうか皆さん、自分が私の立場であることを想像して見てください。私は22才の若者です。私は勉強することを希望しています。自分の将来を考えると、どうしようもなく悩んでしまいます。なぜなら、現在の最悪の状態から、将来の希望を持つことができないからです。私の願は勉強をつづけ、自分の方で中程度の生活をおくる方法を見つけることです。

そこで、このような私に関心をお持ちの日本の皆さんにご支援をお願いしたいのです。

新しいトランスフェアーコーヒー ポリビアから届く

1993年に豆のサンプルを取り寄せ購入したいと思いましたが、93、94年と水不足のため十分な収穫がえられず、今回はじめて入荷しました。1996年1月中旬には販売を開始いたします。

ポリビアの南東のサンタ クルズに76の村の1300家族が参加する「ミンガ」という農民の協会があります。ポ

リビアは一人当り国民総生産が、年間6万円強と中南米でも貧しい国です。食べ物も悪く、こどもの半数以上が、基準の栄養状態にも達していません。この状態を改善するために「ミンガ」が組織されました。村の土地は共同の財産で、農民は家族あたり、2、3ヘクタールが割り当てられ、半分をコーヒーなどの換金作物のために用います。土地は共同で耕作され、コーヒーの枝の刈り込み、清掃、土壌保全なども交代で共同で行い、収穫も一緒に行います。「ミンガ」の目標は、会員の収入をよくすること、小規模の土地の生産性を高め、土壌の浸食を防ぐために環境にやさしい生産を行うこと(有機栽培、無農薬)、土地の分散を防ぐこと、健康状態の改善、教育の向上、そして村の一致の強化です。



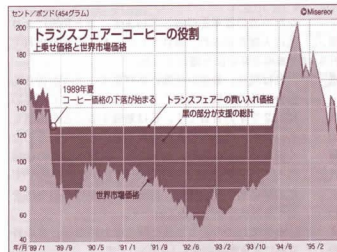
トランスフェアー紅茶による支援

原茶2トんに対し40万円の奨励金

静岡の工場に届けられたタンザニア、Luponde茶葉の原茶



どんぶり作られるティーバック



工業製品と農産物の価格比率の変化 (ドイツ)		
	1985年 (年平均)	1989年 (12月)
トラック1台 (6-10トン積)	コーヒー 92.5袋	コーヒー 332.6袋
トラクター1台 (37-59kw)	バナナ 44.3ト	バナナ 69.4ト
バナナ5トン	コーヒー 54.9袋	コーヒー 150.0袋
	バナナ 26.3ト	バナナ 39.7ト
	コーヒー 20袋 (60キロ)	賞賛機関: トランスフェアー ジャーマニー